

第5回 ボランティア交流サミットひろしま

～ 会って話してつながろう!! ～

開催要綱



1. 趣 旨

4月の熊本地震、6月の広島県内の大雨災害、8月、9月の台風による東日本の大雨災害などにおいては、ボランティア活動が被災者生活の支えとなり、さらに介護保険制度改正などの新たな制度においても、ボランティア活動が担う役割への期待が高まっています。

また、ボランティア活動は生活課題解決の支援だけでなく、人や地域社会、自然と関わる活動を通じて、お互いに支え合うという思いやりの気持ちを育み、理解し合い、支え合う社会の実現を促進する大切な活動となっています。

本サミットは「会って話してつながろう!!」をテーマに、県内の多分野・多世代の活動者や活動に関心のある人または団体が集い、日ごろの活動の情報交換や交流を行い、多様なボランティア観を共有し、それぞれが抱える課題の解決や軽減のヒントを得ながら、平常時、災害時に関わらず、お互いに支え合うことができる地域づくりについて考えます。

なお、当日、同じ会場で開催される「介護の日フェスタ in 広島」へ参加しながら、福祉・介護の理解も深め、地域の支え合いのあり方を考えます。

2. 主 催 ボランティア交流サミットひろしま実行委員会
(社福)広島県社会福祉協議会 広島県ボランティアセンター

3. 後 援 広 島 県 (予定)

4. 日 時 平成28年11月6日(日) 10:30～15:30

5. 会 場 広島県庁自治会館、広島県庁正面第1駐車場(広島市中区基町10-52)
(※会場案内図参照)

6. 参加対象(定員100人)

(1) ボランティア活動・市民活動をしている人、関心がある人

(2) 市町社協・NPO等の中間支援組織・行政・大学・学校・企業等でボランティア・市民活動に関わる人

7. スケジュール

10:00 :30 :40 11:20 12:30 14:00 15:30

受付	オリエンテーション 開 会	① オープニング トーク	② グループディスカッション ボランティア活動 情報交換・交流 (ブース出展団体紹介)	③ ブース活動交流 (昼食休憩含む) 介護の日フェスタin広島 への参加	④ クロージング トーク	閉 会
----	------------------	-----------------	--	---	-----------------	--------

8. 内容

① オープニングトーク

「熊本地震の被災者を支えたボランティア活動」

～ ボランティア活動で育む、支え合うことの大切さ ～

講師 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議メンバー 米沢智秀

※災害ボランティア活動支援プロジェクト会議とは

災害ボランティア活動における人材、資源・物資、資金を有効に活用し、現地支援を行う、災害企業・社会福祉協議会・NPO・共同募金会が協働するネットワーク組織です。

熊本地震の被災者を支援するボランティア活動から、育まれる思いやりの気持ち、支え合うことの大切さを考えます。

米沢智秀（よねざわ ちしゅう）

全日本仏教青年会顧問

茨城県つくばみらい市曹洞宗高雲寺住職

平成5年より様々なボランティア活動に積極的に参加。

熊本地震では、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議メンバーとして、熊本県益城町災害ボランティアセンターで支援活動を行う。



② グループディスカッション（ボランティア活動の情報交換・交流）

「ボランティア活動を語り合おう！」～ 多様なボランティア観を共有する ～

グループに分かれ、オープニングトークを聞いて感じたことや参加者のボランティア活動の取り組みの現状や課題の共有、また、ブース出展団体からの活動紹介を行いながら、参加者同士で情報交換、交流を深め、多様なボランティア観を共有します。

③ ブース活動交流

「ブース de 会って話してつながろう」～ 支え合い活動のヒントを探る！ ～

ボランティア団体、福祉・介護の関係団体等による「介護の日フェスタ in 広島」内の出展ブースを回り、たくさんの活動者たちと会って、話して、つながりながら、お互いに支え合うことができる地域づくりに必要なキーワードを考えます。

④ クロージングトーク

「今、求められる、支え合い活動のカタチ」

～ お互いに支え合うことができる福祉のまちづくりに必要なことは？～

1日のサミットをふりかえりながら、ボランティア活動が担う役割やボランティア活動で育まれるもの、支え合い活動に必要なキーワードを共有しながら、平常時、災害時に関わらず、お互いに支え合うことができる地域づくりに向けて、ボランティア活動の可能性を探ります。

◆コーディネーター

ボランティア交流サミットひろしま実行委員長 渡部朋子（NPO法人 ANTI-Hiroshima）

◆アドバイザー

災害ボランティア支援プロジェクト会議メンバー 米沢智秀

◆スピーカー

ブース出展団体の代表者及び参加者



9. 参加申込

(1) 申込締切日 平成28年10月28日(金)

(2) 申込方法

- ①別紙参加申込書により直接本会(広島県ボランティアセンター)へ申し込んでください。
- ②市町ボランティア連絡協議会の会員及び市町社協に登録しているボランティア活動者、団体は、当該市町社協に申し込んでください。市町社協は参加者を取りまとめ、別紙により本会(広島県ボランティアセンター)に申し込んでください。

10. 参加費

(1) 参加費 **無料**

(2) 昼食について

会場内で開催される「介護の日フェスタin広島」の飲食ブースをご利用ください。

11. その他

- (1) 情報コーナーに活動に関するパンフレットやチラシ等を置くことができます。希望される場合は、申込書に希望の有無を記入してください。
- (2) 公共交通機関を利用して来場してください。
- (3) 参加申込書に記載された個人情報は、運営管理の目的にのみ使用します。

12. 申込み及び問合せ先

(社福) 広島県社会福祉協議会/福祉人材課 広島県ボランティアセンター(担当:河内・天川)
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2
TEL 082-254-3506 FAX 082-256-2228

13. 会場案内図

広島県庁自治会館(広島市中区基町10-52)



ボランティア交流
サミットひろしま
会場
(広島県庁自治会館)
※入り口は
中央警察署側です



県庁までの交通手段

広電 「紙屋町西」「紙屋町東」電停から徒歩3分

アストラムライン 「県庁前」駅から徒歩2分

バス 「広島バスセンター」「紙屋町」「県庁前」各バス停から徒歩1~5分

◇◆「ブース de 会って話してつながろう!!」ブース出展団体（予定）◆◇

団体名	活動内容	活動分野
若者活動サポートセンターあおぞら (広島市安佐北区)	社会貢献活動（まちづくり支援活動）を通じて、若者と地域の市民活動をつなぐ中間支援を行っています。	中間支援 まちづくり
福山ハーネスの会	視覚障害者等の自立を促進、補助犬の供与または貸与、導入するために必要な援助、活動しやすい社会環境の整備・促進を行っています。	視覚障害者
広島経済大学興動館 〔武田山まちづくりプロジェクト〕	広島市武田山の森林を保全し、その資源を地域創生に活かす取組みを展開。災害に強いもりづくりや地域の憩いの森を開拓しています。	環境保全 森林環境教育 まちづくり
広島県ユニセフ協会 ※「世界のコインプロジェクト」 ブース内に募金箱を設置します。ご家庭で眠っている外国コインや紙幣をお持ちください。世界の子どもたちのために役立てます。	開発途上国の子どもたちの現状やユニセフ活動等の啓発活動、ユニセフが支援する世界150以上の国と地域の子どもたちの健やかな成長の支援するための募金活動等を行っています。	国際交流・協力
特定非営利活動法人 SPICA	犬猫の殺処分の現状を伝えるとともに、里親募集や動物愛護センターでの活動を行っています。	動物愛護

※他、3団体の出展予定があります。お楽しみに♪

